

令和6年度 第2回港区区政会議 全体会 議事録

1 日 時 令和6年12月16日（月） 午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員）対面：井本委員、ヴィダル委員、大平委員、上濱委員、北山委員

後藤委員、下村委員、武内委員、豊谷委員、鳥取委員

西川委員、羽東委員、平尾委員、丸岡委員、村田（烈）委員

村田（宗）委員、森岡委員、山岸委員、山田委員、山野委員

WEB：牛島委員

（港区役所）対面：山口区長、磯村副区長、吉野総務課長

五十嵐総合政策担当課長、西堂協働まちづくり推進課長

細江エリア開発推進担当課長

村上教育担当課長、松元保健福祉課長

山崎保健・子育て支援担当課長、吉川生活支援担当課長

杉本窓口サービス課長、前田総合政策担当課長代理

4 議 題 意見交換「区民の防災意識の向上策について」

○前田総合政策担当課長代理 全体会議にお集まりいただきありがとうございます。私は総務課総合政策担当課長代理の前田です。どうぞよろしくお願いいたします。本日の机上配付資料につきましては、それぞれの説明の際に確認させていただきます。それでは会議に先立ちまして、区長の山口よりご挨拶を申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今日の全体会に至るまでに、各部会を開催いたしました。そこでの活発なご議論も本当にありがとうございました。例えばこども青少年部会を最後に開催したんですけれども、子どもたちの SNS 問題とかスマホの問題に関して、1 時間半近く議論をしていただきました。また、福祉部会では複数の委員から、なかなか子育て情報が伝わらないということで、そういったサポートカレンダーみたいなものを作成して情報提供したらどうかとか、あとは認知症の問題、それから保険証の廃止に伴う資格証の話など多岐にわたりご議論いただきました。安心安全・まちづくり部会では、福祉避難所や要支援者の避難方法のほか、他の地域への訓練参加等のご提案もいただきました。万博期間中の区民の交通確保の問題なども、ご議論いただいたところです。今年はやはり元旦の能登地方の地震に始まりまして、年々豪雨災害も激しくなる、また初めて南海トラフ地震臨時情報の発表が夏にあり、本当に災害が多い 1 年だったと思います。万博が来て、外国人観光客が本当に増えていますので、その避難誘導の「おもてなし防災」というプロジェクトをスタートさせたり様々してはいるところなんですけれども、改めて安心安全・まちづくり部会でもご議論いただいたところなのですが、やはり全体会のなかで、ぜひとも自助・共助の防災にテーマを絞って、皆さまにご議論していただく新たな試みをさせていただきます。詳しくは後ほど担当よりご説明いたしますが、元旦の地震があった時、みんな家でゴロゴロしていて、朝からお酒を飲んでいい日なんでね、夕方にこうパッと起きて、大阪市内で震度 4 が出ると参集してくることになりますので、職員それぞれバラバラの場所におりました。帰省していた者もいれば、ちょっと旅行に行っていた者もいれば、もちろん家に居た者もいたんですけども、それぞれの地域もそうだったと思うんです。なかなかこう、いつ起こるか分からない状況で区役所も公助というものにも限界があるというところをまた改めて感じつつ、なかでも備えはしっかりするなど連携を深めてはいるのですが、ぜひとも皆さま地域それぞれの自助・共助ということに関して、今日はご議論いただければと思います。私も副区長も議員の先生方もそれぞれにテーブルを覗きに行かせていただこうと思っておりますけども、限られた時間ですので、気にせず意見交換をしていただければと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 それでは、お手元の資料①全体会議の「次第」をご覧ください

さい。

議題に入ります前に、欠員になりました公募委員の募集を行い、9月2日付けでお二方に新たに就任いただきましたので、ご紹介させていただきます。資料③の「区政会議委員名簿」をご覧ください。お名前をお呼びいたしますので、その場で一言ご挨拶をお願いいたします。福祉部会の西川委員です。

○西川委員 はい、皆様いつも大変お世話になっております。港区社会福祉協議会の事務局長の西川です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 続きまして、安心安全・まちづくり部会の上濱委員です。

○上濱委員 はい、この度公募委員としまして選んでいただきました、上濱真邦と申します。頑張ってまいりたいと思います、よろしくお願いします。

○前田総合政策担当課長代理 ありがとうございます。お二方の任期は、本年9月2日から令和7年9月30日までとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、現在の出席状況をご報告させていただきます。区政会議につきましては、委員定数の2分の1以上の出席により成立すると規定されており、現在ご出席されている委員のほかオンラインでの参加を含め、委員定数25名のところ17名のご出席をいただいておりますので、有効に成立していることをご報告いたします。また、本日の会議は公開いたします。会議の様子を動画撮影し、港区役所のYouTubeアカウントにて後日一定期間掲載させていただくほか、議事録も公開するため録音をさせていただきます。全体での進行のご発言の際は、必ずマイクをご使用していただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。もし、会議中少しでも体調が優れないようなことがございましたら、遠慮なくお申し出ください。

次に、条例第8条において、市議員は区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができると規定されており、本日は藤田議員にご出席いただいておりますことをご報告いたします。なお、西議員につきましてはご到着されましたらご紹介させていただきます。では、ここからの進行はヴィダル議長をお願いいたします。

○ヴィダル議長 皆さんこんばんは。議長のヴィダルです。ここからの進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。まずはじめに、本日の進め方について区役所より説明をお願いいたします。

○五十嵐総合政策担当課長 はい、総合政策担当課長の五十嵐です。本日の流れを説明させていただきます。いつもでしたら、各部会の議長より部会でのご議論の内容を発表していただいておりますが、今回は各部会の議論内容や「令和7年度運営方針（案）」については、すでに皆様のほうにお送りをさせていただいておりますので、割愛をさせていた

できます。お送りしている資料について、他の部会での議論を聞いておきたいとか、事前意見での区役所の対応・考え方などに対する追加のご質問など、もしくは部会で言い足りなかったこと等がございましたら、この後お時間を設けさせていただきます。その後本日の全体会につきましては新たな試みとしてテーマを1つ設けさせていただいております。そのテーマに沿ったご議論を各部会ごとにさせていただき、限られた時間の中で、委員の皆様の意見交換や発言機会を確保するため、部会ごとでの話し合いをしていただく形を今回はとらせていただいております。

本日は、暮らしに直結するテーマとして「区民の防災意識の向上策」についての区の取り組みを説明した後、各部会ごとに自助・共助をさらにどう活発化させていくか、それぞれの思いや考えなど、取り組みの状況なども含めて情報交換をしていただければと思います。地域の防災学習会や避難訓練に参加されていない方もいらっしゃるかと思います。参加されている方はその時の様子を、もし参加されていない方は、なぜ参加できないのか、なども述べていただければと考えております。議長と一緒に話を進めるコーディネーター役として、課長級3名程度が各部会に入ります。20分程度のお時間しかございませんが話し合いをしていただきまして、最後に部会から出された意見などを各議長から発表していただく。そういうことで全体の共有とさせていただきたいと考えております。以上が本日の流れになります。以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。ただいまの説明でご質問などございますでしょうか。無いようですので、このまま進めさせていただきます。

先ほどの説明でありましたように、他の部会での議論で聞いておきたいことや事前意見での区役所の対応・考え方等に対する追加のご質問、部会で言い足りなかったことなど、どなたかございますでしょうか。続けさせていただきます。今回、新たな試みとして、各部会ごとで話し合いをしていただくテーマ「区民の防災意識の向上策」について、区役所から説明をお願いいたします。

○西堂協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課の西堂です。

当日配付資料⑦「部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和6年度第2回）」にも記載しております通り、12月2日に開催されました安心安全・まちづくり部会では委員の皆様から防災に関するさまざまなご意見を頂戴しています。地震・津波・台風と言った自然災害に備え、区役所においても市・区民・地域や関係機関と連携しながら、さまざまな防災対策を講じているところです。本日の全体会では防災をテーマに区民の防災意識の向上策について各部会の委員の皆様からご意見やアイデアをいただければと思います。

それでは、当日資料⑧－１「区民の防災意識の向上策について」をご覧ください。

A4の横の資料になります。「区民の防災意識の向上策について」でございます。表紙をめくっていただきまして、資料の２ページ目をご覧ください。資料ページは右上に記載しています。

「令和７年度 港区運営方針（素案）」経営課題２「安全・安心・快適なまちづくり」の課題認識の一つとして地域防災力を強化するため、自助・共助・公助の役割分担のもと、区民の防災意識をさらに高めることとしています。区民モニターアンケートでは、「災害時、津波で避難が必要になった時のために避難場所を決めていますか」という問いに対して、「決めていない」人の割合は令和４年度では約３０％、令和５年度では約１５％と減少しましたが、依然として決めていない人がいる結果となっています。また令和５年度の調査では、避難場所を決めてない方にその理由をお聞きしたところ、避難場所が分からないといった理由の他、危険かもしれないが家にいるつもりといった内容の回答などがありました。

３ページをご覧ください。災害に対する備えとして自助・共助・公助の主な取り組みを記載しています。自助では避難場所・避難経路の確認、自宅における災害用備蓄に関する取り組みなど。共助では自主防災活動への参加や地域の防災訓練、学習会などの実施など。公助では防災マニュアル・マップなどの作成・配布や災害時避難所での食料や飲料水などの備蓄などといったさまざまな取り組みがあります。災害の被害を最小限に抑えるためには、何よりもまずは自分の命は自分で守る自助の取り組みを進めること、個々人の防災意識を高めることが大切であり、共助・公助の取り組みと連携し、地域防災力の強化に取り組めます。

次のページからはこれまでの主な取り組みを紹介させていただきます。４ページをご覧ください。共助の取り組みとして、地域の防災訓練や防災学習会です。防災訓練につきましては、各地域が主体となって区役所や消防署も相談に応じながら訓練内容などを検討し、避難所の開設や避難所への避難訓練などを実施しています。防災学習会では、港区の防災アドバイザーによる地震・津波などの仕組みや、家庭内備蓄、家具類の転倒防止対策などの日ごろの備え、書き込み式のマイ・タイムラインを活用し、災害時における避難に備え、参加者それぞれで自分の逃げ方を考えたりするといった講座やワークショップを行っています。こうした訓練や学習会は、今年度はこれまでに７地域、延べ１２回開催し、年度末までにも４地域で開催する予定となっています。

５ページをご覧ください。共助の取り組みとして広報活動です。港区防災マップは区内の全戸に配布している港区の広報紙「広報みなと」に台風シーズン前の毎年７月に特集号として掲載し、また区内転入者の方への窓口で配布する各種案内とともに直接お渡ししています。

す。

6 ページをご覧ください。こちらにも公助の取り組みとして様々な防災情報を取得出来る大阪防災アプリです。このアプリは災害時の行動だけでなく、日ごろからの備えに役立つ情報がたくさん入っています。ハザードマップの他、避難所の場所や開設状況、避難所までのルートを確認出来る防災マップや、トップ画面には大阪防災シグナルが掲載されており、避難情報や気象情報などが発表されると一目で分かるよう色が変わってお知らせされます。備蓄品チェックリストもあり、家族構成を設定すると一週間分の必要な備蓄量が確認出来ます。その他、雨雲レーダーや市民防災マニュアル、防災情報に関するリンク集もあります。言語も日本語の他に英語、中国語、韓国・朝鮮語、やさしい日本語にも対応しており、多くの方にご利用いただけるようになっています。便利な情報ツールですのでスマートフォンをお持ちの方にはダウンロードをしてご活用いただきたいと思います。

7 ページをご覧ください。「区民の防災意識の向上策」として資料の左側に記載の避難場所を決めていない理由や自助の取り組みについて、それぞれの課題に対して共助・公助の取り組みで効果があると考えられる取り組み案を資料の右側にリストアップし紐づけをしています。例えば避難所が分からないといった課題への対応策としましては、防災学習会でのマイ・タイムラインの作成や、防災訓練での避難所への避難訓練、大阪防災アプリで現在地から避難所までのルートを確認出来る防災マップを活用していただくことなどが考えられます。また自助の取り組みでの食料や飲料水などの備蓄、家庭内備蓄と言った課題への対応策としましては、防災学習会で日ごろの備えについて必要性を学んだり、大阪防災アプリの備蓄品チェックリストを活用して、何がどれぐらい必要なのかを確認していただくことなどが考えられます。こうした課題解決に向けた取り組み案につきましては、取り組み内容を充実させるとともに、便利な大阪防災アプリについては少しでも多くの方にご活用いただけるよう、また防災学習会や防災訓練についても多くの方に参加いただけるよう周知・啓発に努めて参りたいと思います。

当日配付資料⑧-2「今、災害が起こったら？」という黄色のリーフレット、この裏面に大阪防災アプリの主な機能の紹介、ダウンロード用のQRコードも掲載しており、見開きのページでは自助・共助・公助の取り組みについて掲載していますので、地域の防災学習会やイベントなどで配布をして周知・啓発に努めていきたいと思います。

説明は以上ですが、この後、議題について委員の皆様が行っている自助の取り組みですとか、当区が行っている取り組み内容や周知・啓発をさらに充実させる方法や区民の防災意識の向上策などに関しまして意見交換をいただきまして、さまざまな視点から忌憚のないご意見をいただく事で今後の取り組みに活かして参りたいと考えていますので、どうぞ

よろしくお願いいたします。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。では、各課長様に担当部会に入ってください。準備が整った部会から自由にお話し合いを始めてください。よろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 1点恐れ入ります。意見交換に入ります前に、先ほど西議員が10分ほど前にお越しいただきましたのでご紹介させていただきます。

○西議員 どうも、皆さんこんばんは。よろしくお願いいたします。新任の方がおられるということで。どうぞよろしくお願いいたします。

○五十嵐総合政策担当課長 はい、ありがとうございます。各部会の話し合いの時間ですが、目安としまして19時45分くらいまでに一旦終わっていただけたらと考えております。ただ、議論が活発に行われているようであれば、途中で止めることはいたしませんので、どんどん議論していただけたらと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

～意見交換 およそ35分間～

○ヴィダル議長 すみません。皆さんお時間になりました。お話し合いはいかがでしょうか。そろそろ全体会として皆さんのご意見を集めたいと思いますので、よろしいでしょうか。大盛り上がりでございます。喜ばしいことでございます。では、各部会から出されました意見・提案などを簡潔に発表していただきます。まずはこども青少年部会の私からさせていただきます。

こども青少年部会では、子どもと一緒に暮らしている家族、子どもさんがもう既に独立をされて地方におられる家族も色々おありまして、自助としてはいわゆる防災ケース、防災カバンを持っていらっしゃる方もおられれば、これから考えていかれるという方もおられました。共助につきまして、かなり話が盛り上がりまして、各々の地域に中学校、高校もあれば小学校または幼稚園、保育所もあるということで、保育所に関しましては、特にお父さん、お母さん、保護者の方々と日中離れている状態の非常に小さい子どもさんがおられる。そこをどうするかというところで平日、昼間、いわゆる学生さんが各々の学校におられる時間帯は、ジュニア防災リーダーとして活動をしていただく、意識を持っていたくという取り組みをこれから行って、小さい子どもさんたち、あとは地域によっては高齢の方々に自分では避難が出来ない方々を率先して助けていく、という若い力を育てていければというふうな意見が出ました。それに関しまして、区民まつりのような、この1年に1回この日は港区の防災の日ということで1日を設けた上で、子ども会とかPTAとか他

団体の行事がバッティングしないように、これは防災の日をするんだというふうに決めて、各地域で防災を行い、避難訓練を行い、意識を高めていって、どの状態でも動けるといって港区自体で動くことが出来るような、日にちを設けてはどうかという意見が出ました。こども青少年部会からは以上です。

それでは次に、福祉部会の平尾議長お願いいたします。

○平尾委員 はい。ありがとうございます。大した発表にはならないですが、わが部会では、防災意識の向上策について、主に自助・共助のことについて話し合いました。まず備えとして所属法人とか各団体での食料・水・毛布などのストックの話をさせていただきました。あとですね、お薬ですね。ストックを1週間分ローリングストックみたいな話もあったんですけど、喉元過ぎたら熱さを忘れちゃうんで、皆さん熱さ忘れてストックしてないよ、というお話も聞きました。あと訓練等ですが、防災学習会もうちょっと充実してほしいな、と。地域でまとまってというのがなかなか、同じ人が来て、同じ話を聞いて、同じ結論にしかないようでは、どんどん質が落ちていくので、もうちょっとコンテンツを高めてほしいな。例えば起震車を呼ぶとか、あと阿倍野の防災センターに皆で行ってみるとかというのも意見として出ました。あとですね、小学校単位等々で色んな事をやっているみたいですが、そうするとご家庭のあるおうちが良いんですが、1人暮らしの老人とかはどうしても取り残されることになりますので、特に地元のこういったコミュニティともつながってなさそうな外国人の方が取り残されるんじゃないのかということで、この辺はもうちょっと待遇してほしいという提案になります。以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。では最後に安心安全・まちづくり部会の山岸議長お願いいたします。

○山岸委員 私たちの部会のほうは、やはり自助の部分はやっている方がたくさんいらっしゃるって、ローリングストックもやってますし、地域の訓練にも積極的に参加されてる方が多かったです。そこで実際に「現状の避難場所を決めていない人を、どういうふうに決めているほうに持っていったらいいでしょうか」という話を中心にさせていただきました。そうしましたら、やはり学習会に参加することが1番いいんじゃないか、という提案をさせていただきました。そうするにはどうするかというと、例えば参加者が少なくてもやり続ける。うちの地域の説明ちょっとさせていただきましたら、午前の部と午後の部との2部制にしてまして、午前のご高齢の方で、お昼に動かれる方が集まってきていただいて、あと午後は働いている方が、夜7時半から参加できる。そういうふうに2部制にしてやっていってもどうかなということを言わせていただきました。それと自分のところ以外の地域ももし日にちが合うんだったら来てもらってもいいよ、どなたでも参加できますと

いうことを、チラシですとかポスターで、もちろん自分の所の地域の皆さんと相談してからなんですけども、そういうふうにも他の地域でも積極的に参加してもらってもいいんじゃないかなと思いました。あと学習会ですとか、いろんな形の防災セミナーというのも積極的にしていただいているんですけども、周知の方法について、大阪メトロ、駅でポスターを貼っているとよく目について、自分からスマホとか SNS とかで見なくても、通勤・通学で目に入るので参加してみようかなという人が増えるんじゃないかなという話をしていました。またメトロさんと協力して、例えば大阪港でしたら、こういうふうな津波避難ビルがありますよ、とかそういうふうなお知らせをすることができればいいんじゃないかなという話が出ました。あとイメージ映像が効果的なので、いい機会がありましたら、日頃防災意識の薄い方に、時々皆様集まった時に、津波が来た時に高いビルに逃げて行くんだよというようなイメージ映像をお見せすることが、避難活動するのに効果的じゃないかなという話も出ました。あと要支援者や障がいのある方などには、障害者手帳を切り替える時に、いざという時にこういう避難場所がありますよ、というような色んな防災的なお知らせを混ぜてお渡しすることが出来たらいいなという話も出ました。あと施設毎に平日で1度大がかりでなくても、その施設だけの避難訓練というのをされて、そこにその近くの地域ですとかお手伝いできる方が参加して、大きな避難訓練でなくても小さな避難訓練を少しずつやっていけばいいんじゃないかなという話も出させていただきました。以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。他の部会からのご意見に対してなにかご質問等ございませんでしょうか。どうぞ。

○山岸委員 こども青少年部会の港区の「避難訓練の日」というのを決めるっていうのはすごくいい案だと思います。

実際、三先地域の避難所開設訓練の時に、ちょうどその時に子どもたちの子ども会の大会とバッティングしてしまって、若いお母さんに申し訳なかったんですけども、そういうことがありましたので、この日は何にも行事がないっていう時に一斉にすると誰もが参加しやすくなるかなと思いました。私も本当に少しでも避難訓練はみんなで行けたらいいなと思ってますので、いい案をありがとうございます。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。他にご意見ご質問等ありませんでしょうか？もしよろしければオンラインでご出席の牛島議員もいかがでしょうか。発表だけ聞いていただいた形になるんですけども。

○牛島委員 ありがとうございます。2部制ですかね、なかなか1回だけお昼にやると高齢の方とかは来やすいんですけども、仕事されている方とか若い人たちっていうのは、なかなかうちも参加は少ないんですけども、何回かに分けて、どこかで来てもらえるという

のは確かにいいアイデアだなと思って聞いていました。

私の地域では子どものお祭りとかのときに、そのちょっと前に避難開設、避難訓練をやったこともあるんですが、なかなか手が足りないというか、そのあとすぐ祭りの準備というので、1回2回やってちょっと無理だなということになったんですが、皆さんが協力してくださったりというのが可能であれば人が集まるのはそういう形もいいのかと思って今お話し伺っていました。ありがとうございます。以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。他にご意見ご質問等ありませんでしょうか？

○山岸委員 すごくいい案が一つ出てたんですけども、私よりも提案していただいた方が内容に詳しいので、私じゃなくて申し訳ないです。

○上演委員 モバイルバッテリーが災害時にはどうしても必要だということで、SOSを出すにしろ、連絡を取るにしろ、スマホが必ず必要になり、電源が必要ということになります。街中にAEDは100メートルおきだとか150メートルおきにあるので、そういう形でモバイルバッテリー、電源というのも、公共で使える電源、非常時に使える公共の電源を各点々に置いていただくというのはどうかとご提案させていただきました。以上となります。

○ヴィダル議長 素敵なお意見ありがとうございます。それではお時間もだいぶ進んできましたので、全体を通しまして区役所からご意見があればよろしく願いいたします。

○山口区長 みなさん活発な意見交換ありがとうございます。全体のそれぞれの発表も聞かせていただきました。やっていることでも、本当に伝わってないこともあるんだという反省もありつつ、新しい提案をいくつか頂きました。

今回部会でもあったのですが、まず自分の地域外での防災訓練・防災学習会にも行けるようにしてはどうかと、これはそれぞれの地域の防災リーダー、地域防災の皆さんたちにお伺いもしないといけないなと思っていて、その時に例えば「外国人の人と一緒に受け入れも可能ですか」というところとか受け入れの支援を国際交流センターとか、いろいろ繋ぎながら一緒にやるっていうような事をして機会を増やしたいなと。

また、その防災訓練の情報を私は時々ツイートしてるんですけども、リンクはずっと一緒ですが、ホームページに随時更新なので、常にそのページをチェックしておいてというのもなんですが、せめて大阪メトロの駅に「防災訓練に行こう」とか「最新情報はこちら」みたいなQRコードを貼るとか。また大阪市はLINEをやってまして、プッシュで情報も送れますので、そこで月に1回は難しいかもしれないですが、タイミングを見て情報発信するとか、皆さんのご意見は本当に有意義なご意見が多かったのでしっかり考えたいなと思っています。

あと防災の日を決めるというのは実は考えたことがあり、少なくとも一斉に同じ日の同じ時間に津波避難ビルに残る。自分が安全な場所にいったん逃げて、それを例えばスマホとかで X とかでハッシュタグを付けて報告するみたいなこととか出来ないかと思ったことはあるんですけども、なかなか実現もしていないので、そういうのもありますし、他の行事とバッティングしないというのもまさに大事なことだと思っていますので、こういった働きかけをちょっと整理して、させてもらえたらと思っています。

モバイルバッテリーについて、多分観光局がこれからマップを設置増やすときにその機能がついているような事を聞いたのですが、また確かめます。

あと、必ずしも公共って行政が全部お金を出して設置するだけが公共ではなくて、例えば地域の会館で貸してもいいよ、例えばうちは充電 OK みたいな、そういう所が手を挙げていただいてそれを地図の上に落とすとかできると進みが早いだろうなと思っています。これもまた皆さんのアイデアを形にできるように考えてみたいなと思います。いろいろご意見ありがとうございました。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。だいぶいい時間になってまいりました。本日は市会議員の先生方にもご出席して頂いておりますので、お一言ずつお願いできればと思います。お願いいたします。

○西議員 どうもみなさんこんばんは。お疲れ様です。大阪市会の西でございます。今年は1月1日の正月早々の能登半島地震で始まりまして、例年以上に、防災だの災害の多い状況が続いております。いつ何時また港区でもということもございまして、今日本当に皆さん新しい試みではございますけども、具体的な題材を元に意見交換していただきまして、本当にお疲れ様でございました。

隣の台湾でも地震災害があった際に、私もびっくりしたんですけども避難所にいろんなサービスといいますか、マッサージの案内があったりとか、当然いろんな飲食物とか周りのところからどんどん届けてもらおうとかいうような過剰とも思えるようなそういったのがあったんですけども、いろいろお聞きしますと台湾の方も日本で4年前ですかね、5年前、熊本地震があったときにこの地震災害で亡くなられた方よりも、そのあとの避難所生活によって亡くなられた方の方が多いことに、非常に衝撃を受けたという事で、やはり避難所でのストレスをいかに少なくするかというところをいろいろと議論されたときに、そのストレスを少しでもということ、そういった教訓になったそうです。それにはやはり地域の力がないとできないということを聞きました。日ごろから地域の方々がいかにそういったことに心を砕いてまた連帯をしていただけるかというところがネックになると思います。私も偉そうなこと言っただけで申し訳ないですが日ごろから、このように皆さんと一緒にいざと

いうときにどうするんだ、どうすればいいのかという共助の部分ですねを一緒にまた勉強しながら進めてまいりたいと思いますので、今後ともまたよろしくお願いいたします。
本日は誠にありがとうございました。

○藤田議員 皆さん本当に今日はお疲れ様でした。普段の会議と違って、皆さんすごく生き生きと話されていたんで、時間が過ぎるのも早かったんじゃないかなと、こっちでみて笑っていたんですけど、普段、報告読むだけの砂漠みたいな会議が「今日皆さん顔が潤っているな」とか言って笑っていたんですけど、すごく良い取り組みだったなというふうに思いました。

この区政会議、本当に重要な会議で毎回言っているんですけども、区にどんどん予算をおろしていく中で、区長って別に政治家じゃないので、この予算を区長が勝手に決めてよいという、権力の正当性みたいなところがこの会議です。なので、この区政会議の条例って皆さんあまり見たことあるかどうかちょっと、僕も定かじゃないんですけど、全部は読みません。2条だけ読みたいんですけど、ここに「区政会議とは、各区（港区）において、区長が行う政策を立案段階から意見を把握し、適宜これを反映させる」というふうに書いているんです。だから、来年度以降ですね、区役所の政策を今立てている最中だと思うんですけども、その立案段階から皆さんの意見を採用、というか聞いていって、それを適宜反映させるというのがこの会議なので、めちゃくちゃ大事な会議で、今日良い意見いっぱいあったなというふうに思います。もちろん区役所も、人員も限られていますし、お金も無限にあるわけではないので、素晴らしい意見でもちょっと難しいなということもあるかと思うんですけども、まずやはり言うてみるというのは凄く大事なことで、現実的に考えてこれは無理だけどこれだったら出来ますよ、とかそういう話し合いがすごく大事なかなと思いますので、ぜひぜひこのスタイルを続けていただければなというふうに思っています。先ほどの、観光案内板の充電のことだけちょっと補足しておきますと、大阪市内でだいたい万博見据えて200カ所ぐらい、いわゆる町会の地図みたいなもの、駅降りた時にある地図みたいな。あれをデジタルサイネージ化していって、普段は地図が出たりとか、何十秒かに1回、回っていって広告が出て、その広告会社の収入で、そこに災害の時には英語だったりとか、フランス語、スペイン語とかいろんな言語、中国語とかで避難情報がパッと変わったりとか、そこにWi-Fiと充電器がついているというのを、いま観光局でやっているんですけど、市内で200カ所ぐらいなので、ほぼほぼ夢洲とか、中央区、北区とかその辺にあると思ってください。港区はちょっとなかなか、まだ難しいなというふうに思っているんで、やはり先ほど区長が言われたのも良いアイデアやなと思うんですけど、こども110番の家みたいな感じで、企業さんとかで協力してもらって、

うち充電器貸しますよ。みたいなものがあったら、予算的にもあまり掛からなくていけるのかなと。結構、協力をお願いするといっても大変なんですけれど、皆さん僕もそうなんですけれど、行政が言ったら協力してくれるやろみたいに思っている人居るんですけれど、そんな甘くないので、大変なんですけど、区役所が汗をかいていただけたら良いなとは思っております。本当に今日は素晴らしい会議だと思っています。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

○ヴィダル議長 市会議員の先生方ありがとうございました。これで本日のスケジュールは全て終了いたしました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。では、区役所へお返しいたします。

○前田総合政策担当課長代理 ヴィダル議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さま、そして市会議員の皆さま、本日の議事進行についてご協力いただきましてありがとうございました。では、最後にすみません、アンケートのご協力をお願いをさせていただきたいと思います。お手元の資料の⑩－１と⑩－２、２種類アンケートをご用意させていただいております。⑩－１につきましては、港区区政会議の各部会に関するアンケートです。また⑩－２につきましては、本日含めまして、全体会に関するアンケートとなっております。皆さまお手元ございましたら、ご覧いただきたいと思います。本日です、全体会の運営をこのようなかたちでさせていただきましたので、そちらにも対して、ぜひ率直なご意見をいただければと思います。お時間まだいただける方につきましては、この場で記入していただきまして、机に裏返して置いてお帰りいただければと思います。また、お時間ない方はメールでこちらのほうから改めてご連絡、ご案内させていただきますので、できましたら 12 月末を締め切りとさせていただきます。紙のご提出でも結構ですし、メールやファックスの送信でも結構ですので、ぜひ区役所にアンケートを通して、貴重なご意見くださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。それでは最後に副区長の磯村より、閉会の挨拶をさせていただきます。

○磯村副区長 すみません、副区長の磯村です。今日はありがとうございました。両先生方、区長もそうなんですけど、たくさん喋っていただいたんで、僕が喋ることはもうまったく無くなったんですけれども、区政会議というのは本当に、区役所にとっては 1 つの大事な重要な会議で、皆さんの率直な日々、この港区で住んでいる方の意見、昔からずっと住んでいる方の意見、そういうものが我々行政ではちょっと、考えつかないようなこともあるだろうということで、区民の皆様の意見をしっかり吸い上げて区政に反映していこうという形でできあがったものなので、今日はちょっとすみません、皆さまに無茶ぶりをして、チャレンジングな取り組み、これも 1 つの区役所の改革だと思ってもらったら良いんです

けれど、こういうふうにさせていただいて、活発な意見をいただいて、たくさん意見が出て、意見がたくさん出ると区役所の担当者はちょっと困るんですけどね。どうしようかなといま悩んでいる者もいると思うんですけど、それを整理させていただいて、皆さまにお返しするというのが我々行政の仕事だと思っています。引き続き今もありましたように、オンラインでもご意見いただいたら結構ですし、いろんなところで、いろんな声を聴かせていただいて、港区がますます良くなっていけば良いなと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

○前田総合政策担当課長代理　皆さま長時間ありがとうございました。本日の会議は以上で終了いたします。ウェブ会議でご参加いただきました牛島委員もありがとうございました。アンケートもご記入いただきましたら、気を付けてお帰りください。どうもありがとうございました。